

アイドルのキミの
隣のぼく 3

注意

本作の無断転載、販売、配布を禁止します。
この物語はフィクションです、登場する人物、団体等は
架空の物であり、実在の物とは一切関係ありません。
登場人物は全員18歳以上です。



なんで!?

カッ
ツ

あなたが!?



近寄ら
ないで

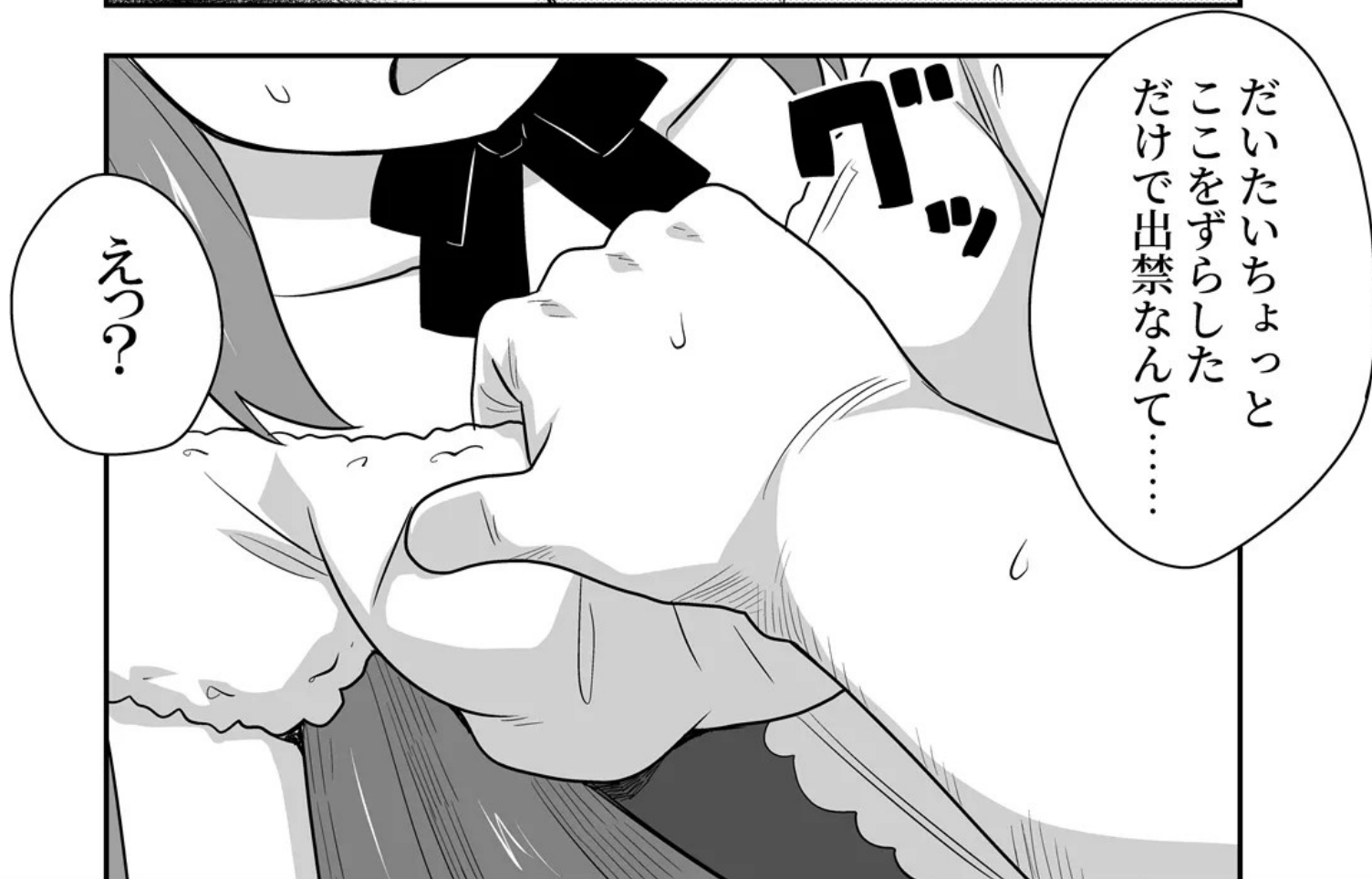
いやっ



酷いよ
ルナちゃん

出禁なんてさあ
もう会えないって
思ったら……

なんでそんな
事言うの!?





さあっ

!!

フルッ

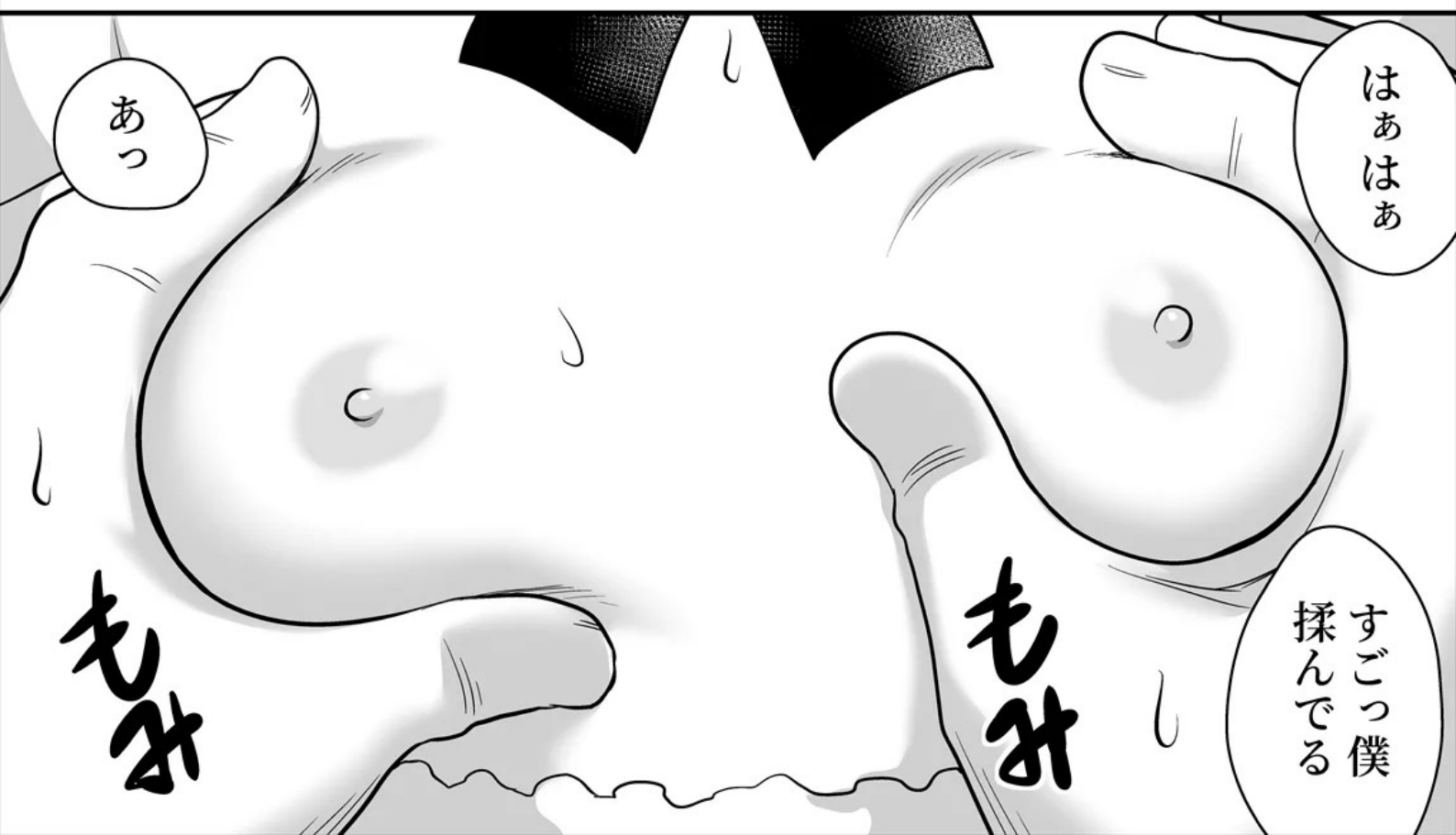
ウソっ!?

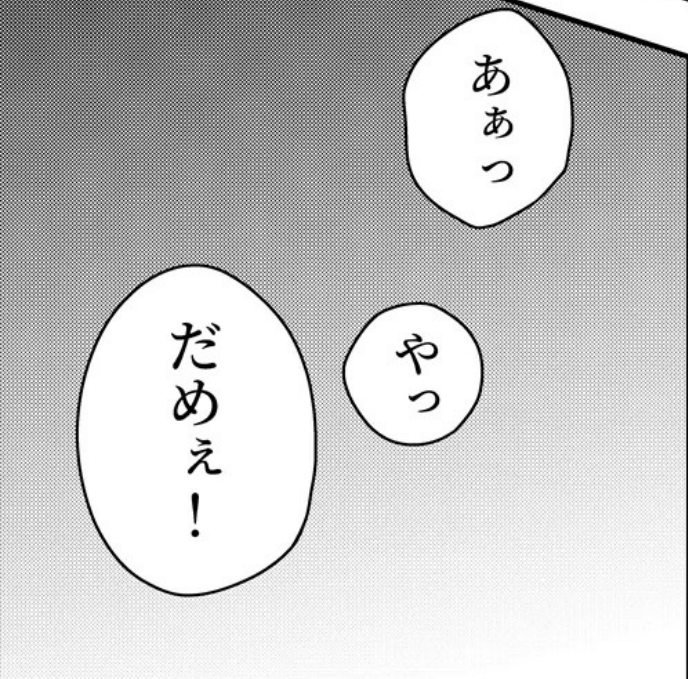
だっダメっ!
やだっやめて

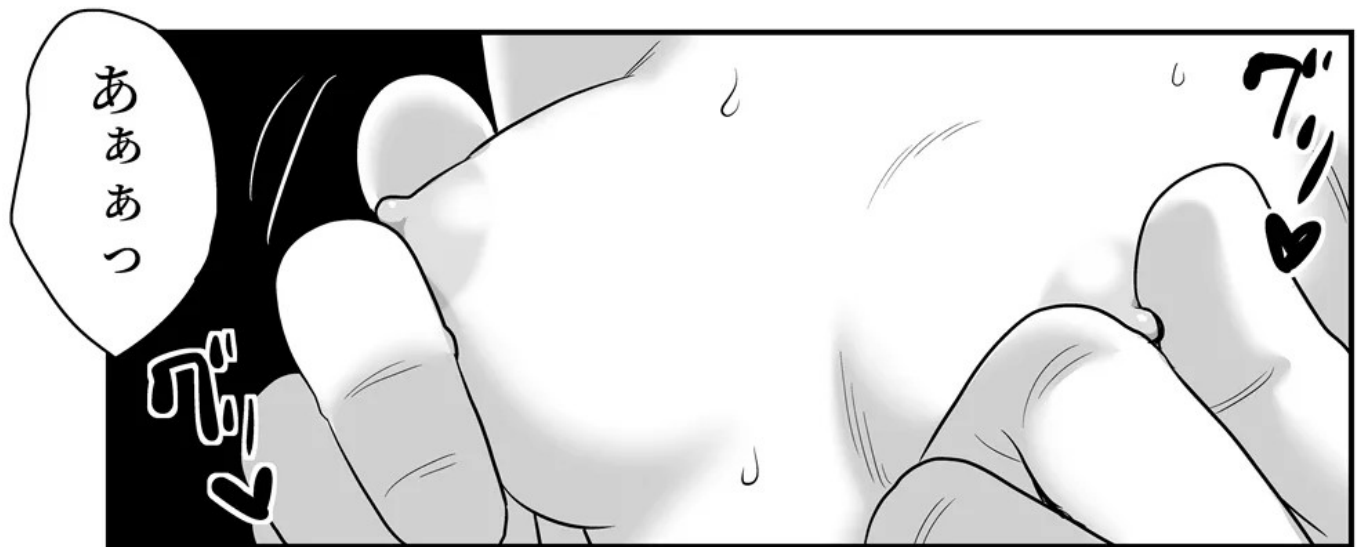
おおおおお
ルナちゃんのおっぱい♪

おねがい
放して!

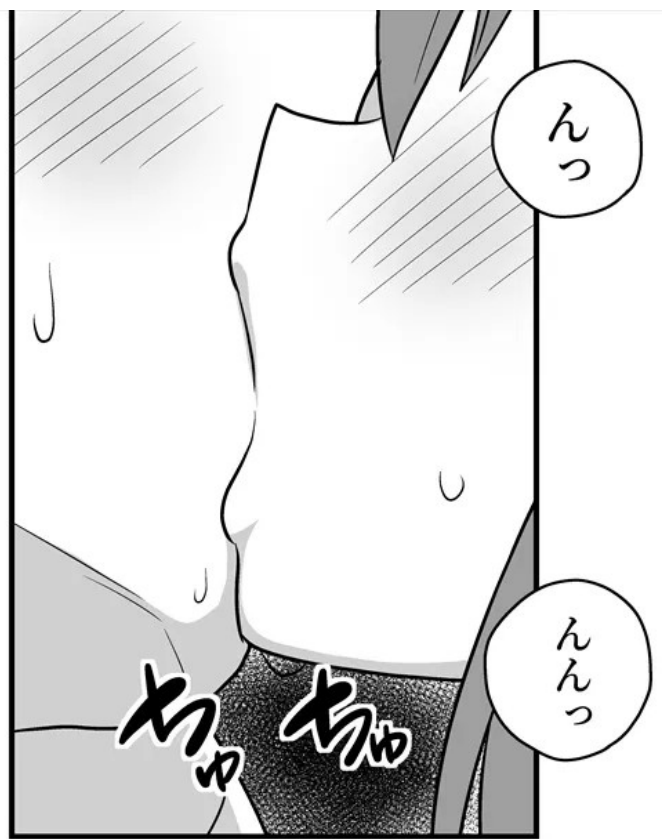
はあはあ







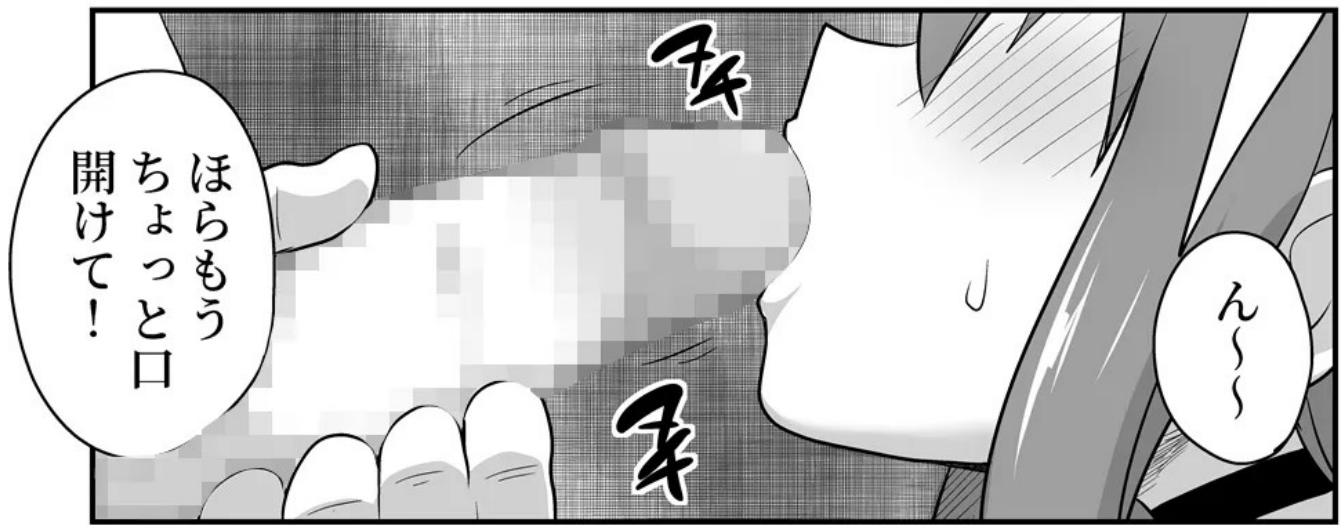












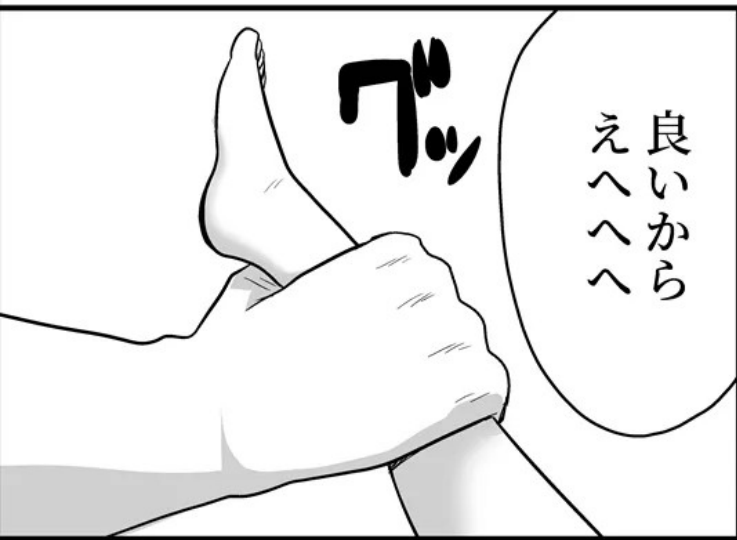




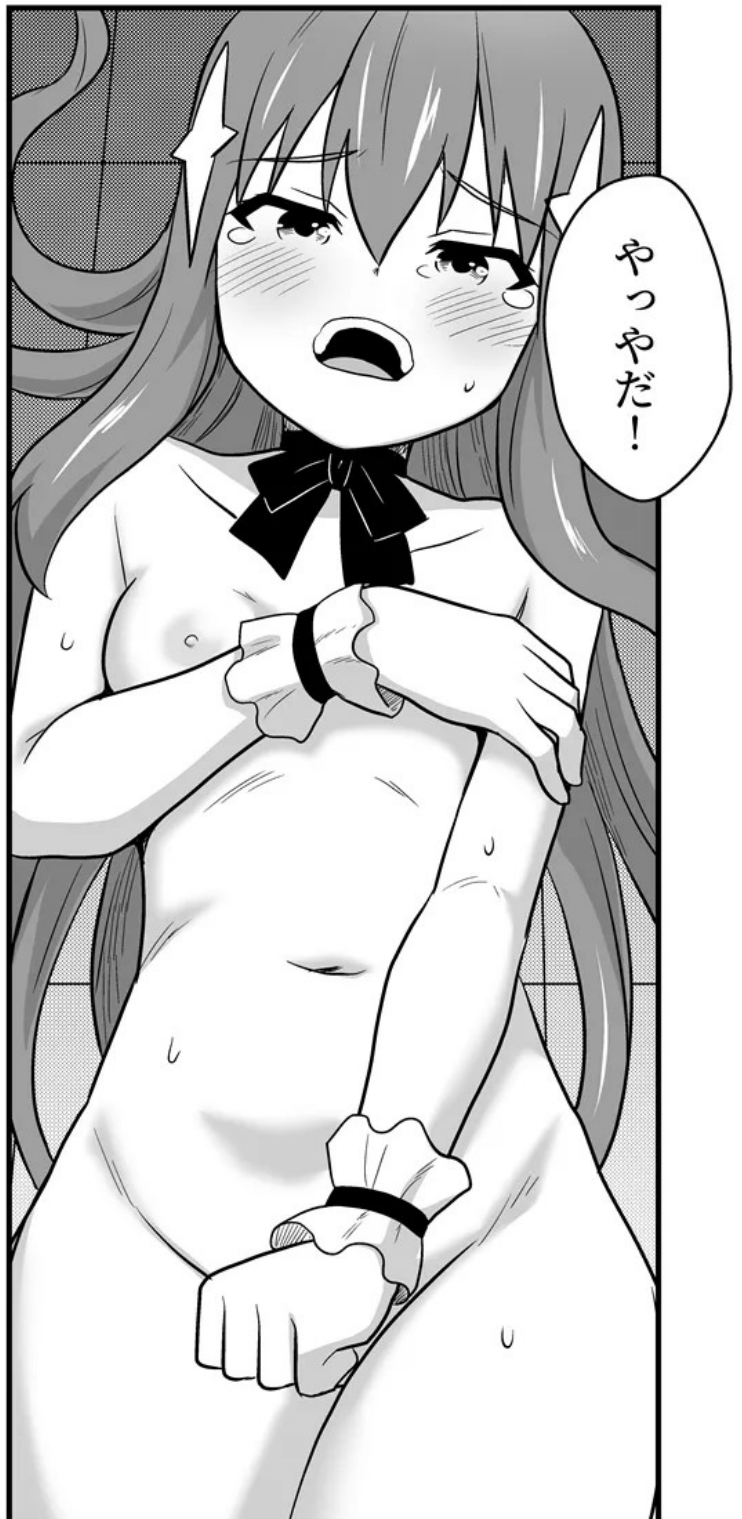




今度は僕が
ルナちゃんを
気持ち良くして
あげるね♪



良いから
えへへへ





んああ

んんんんん

やだ……



はあああ
ルナちゃんの
ま●この味

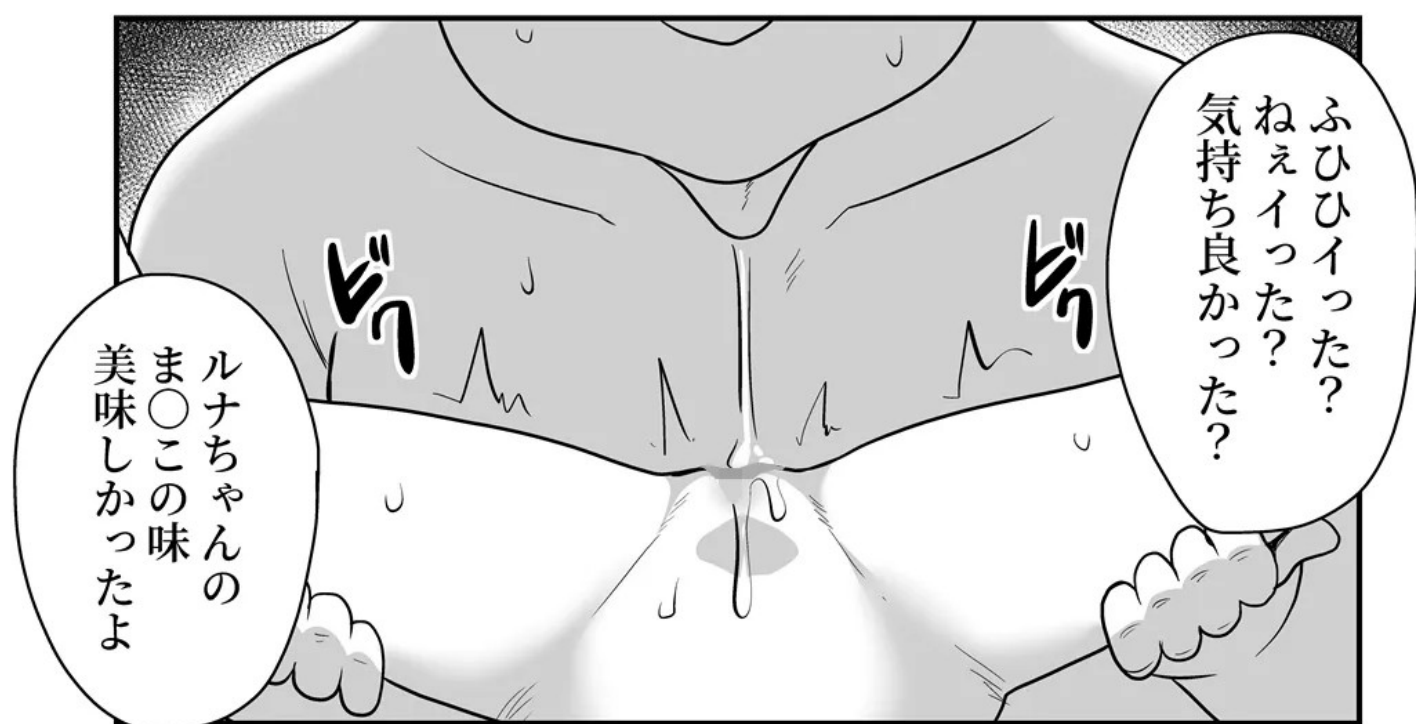
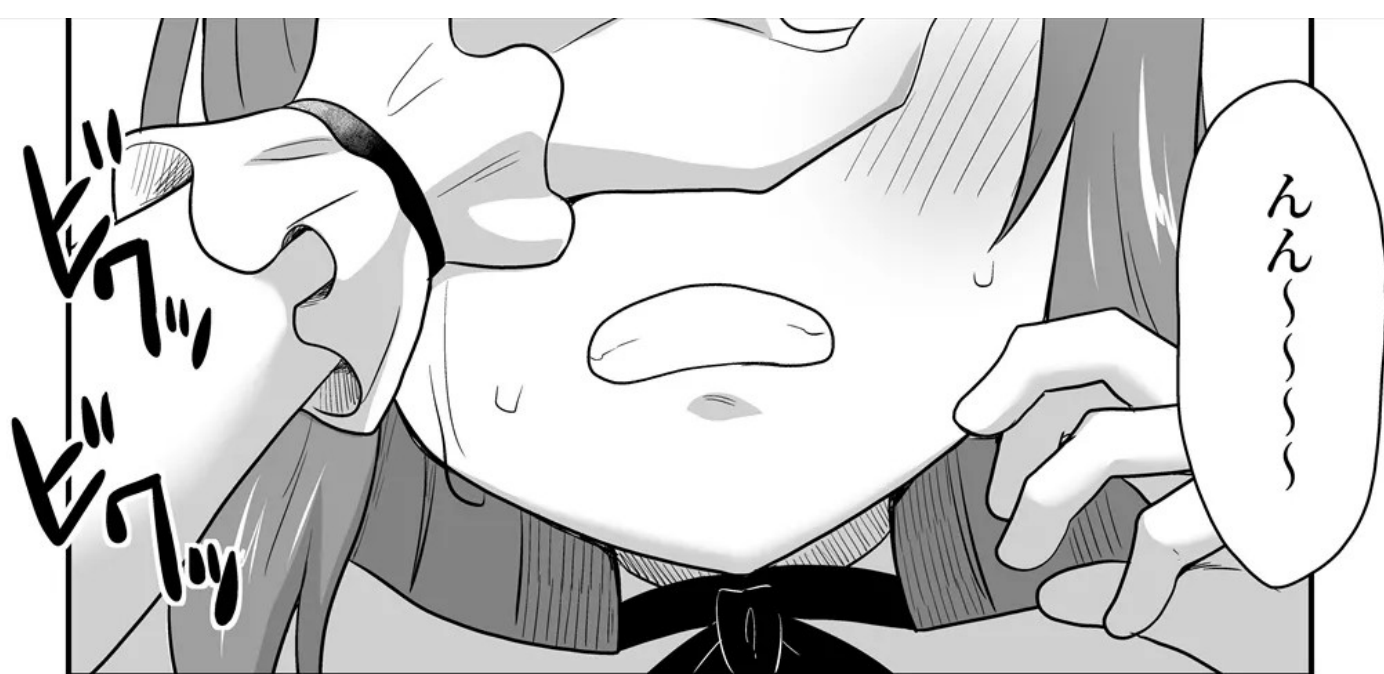


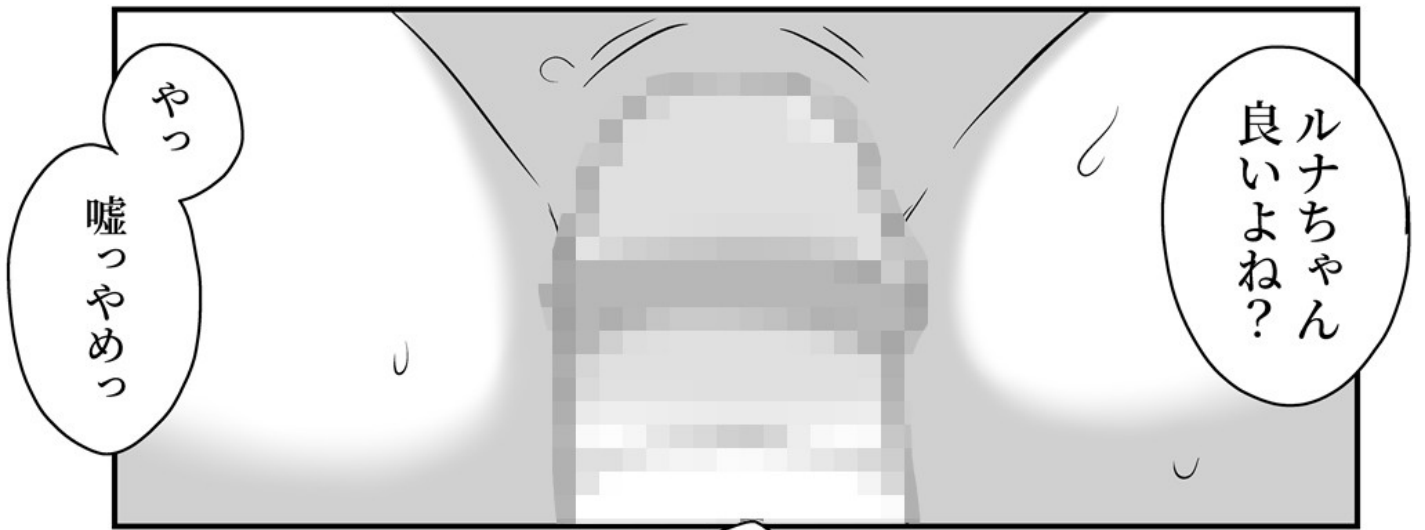
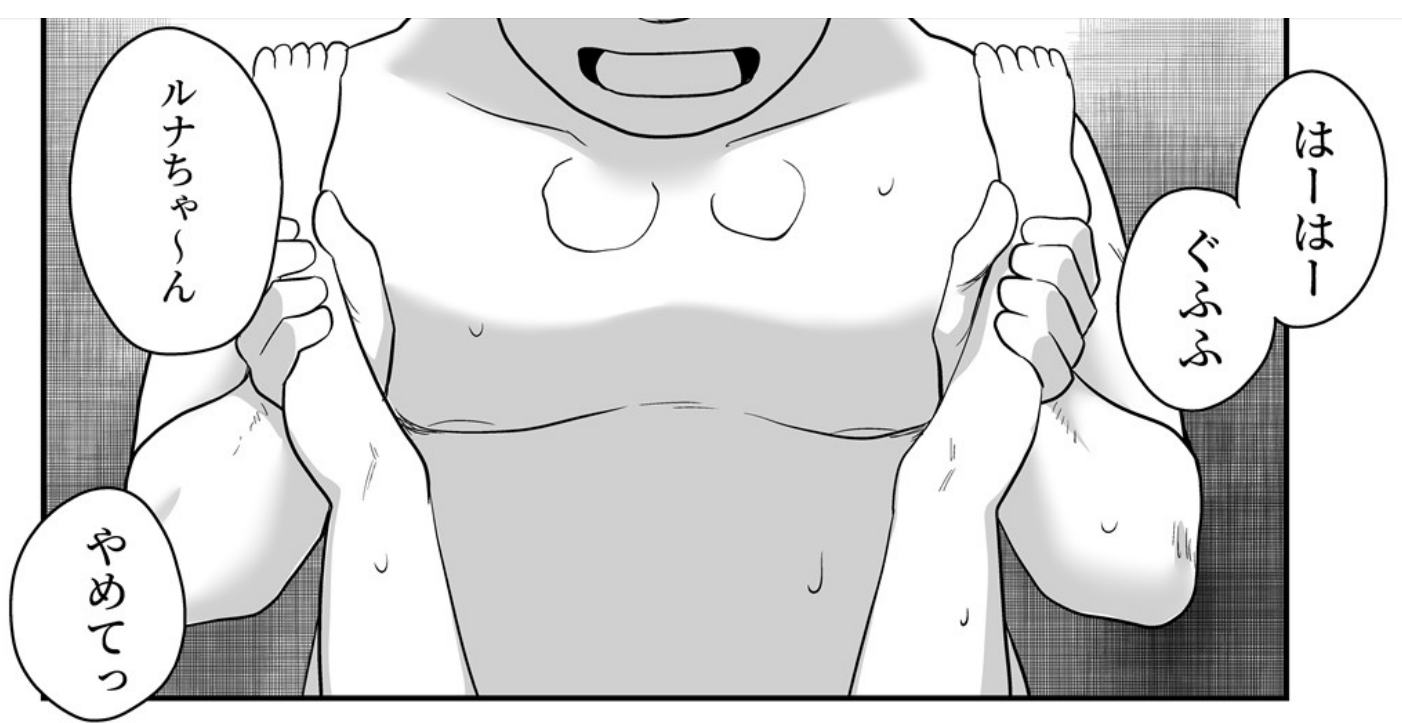
ああ

やめっ

ダメダメ

ああっ
んんっ







おおおつ
ルナちゃんのま●こお

あああつ

ググググ



ルナちゃんのおま●こ
キツキツだよ

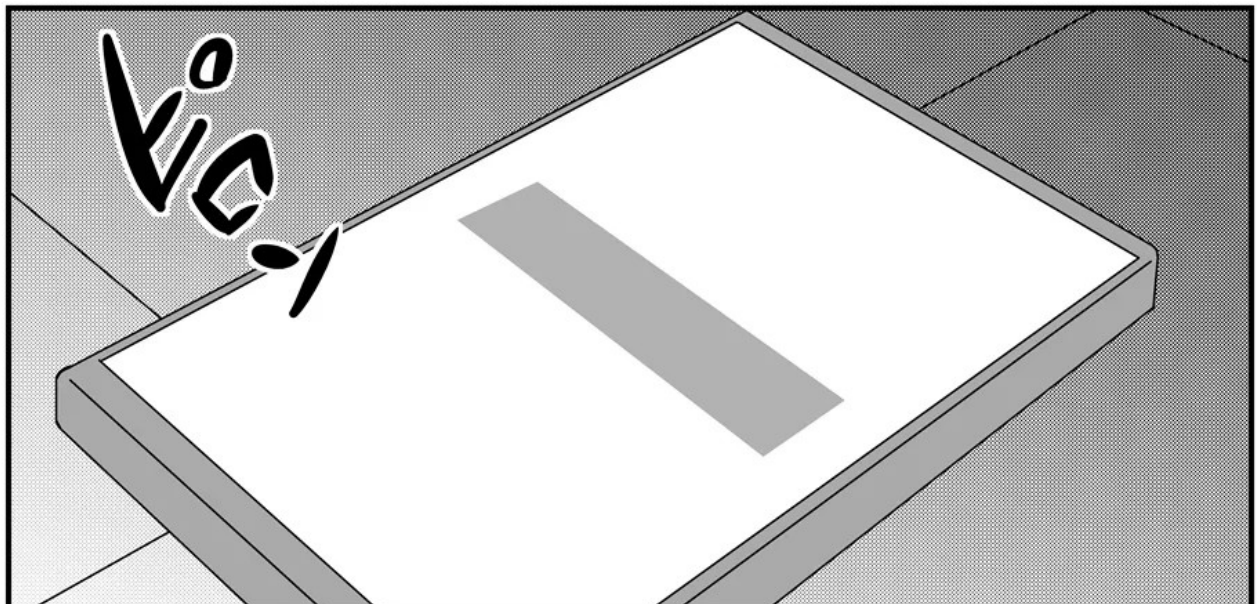


いっ
やめっ



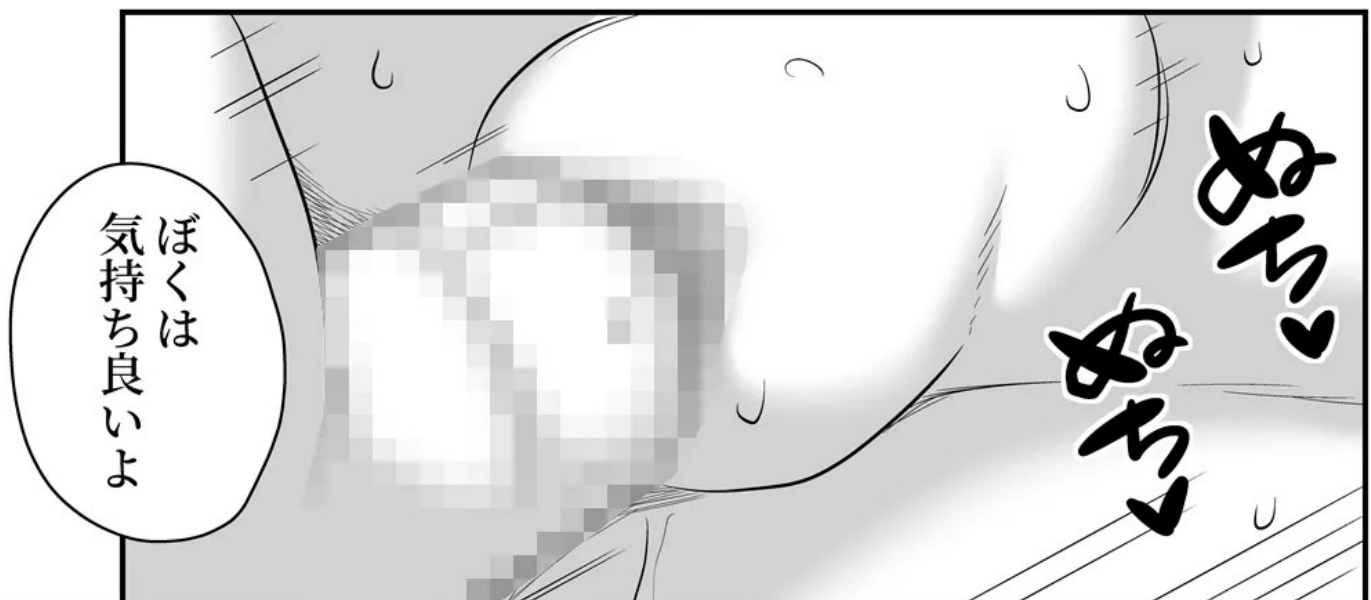
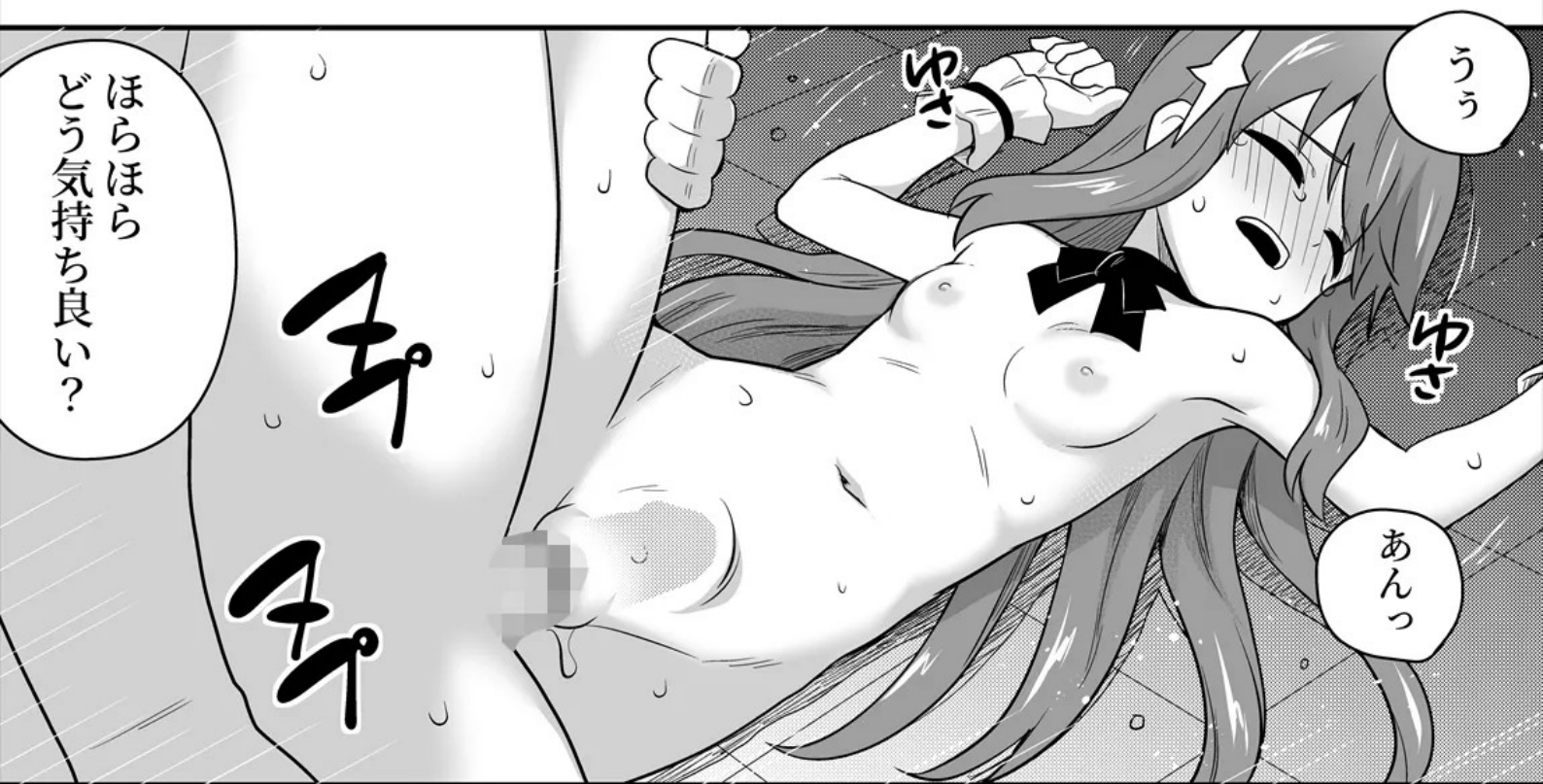
はあはあ
ルナちゃんの中に入っちゃった♪

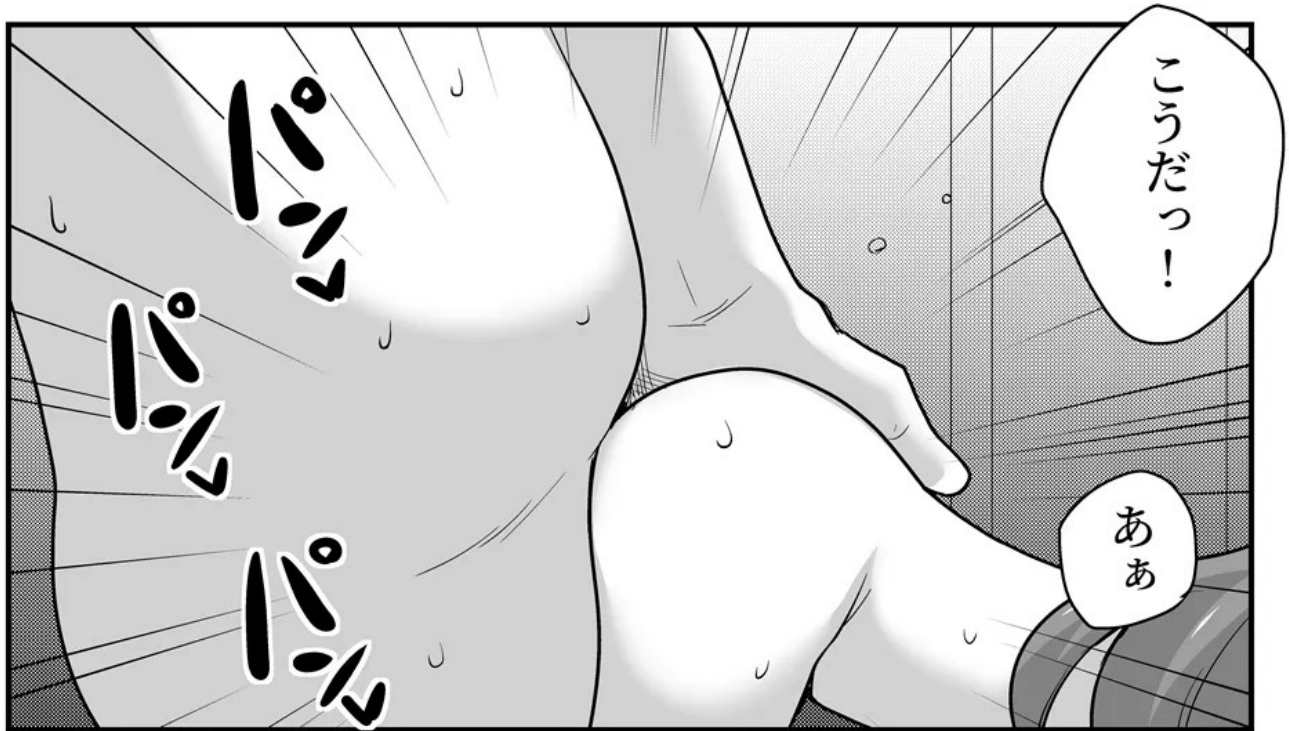
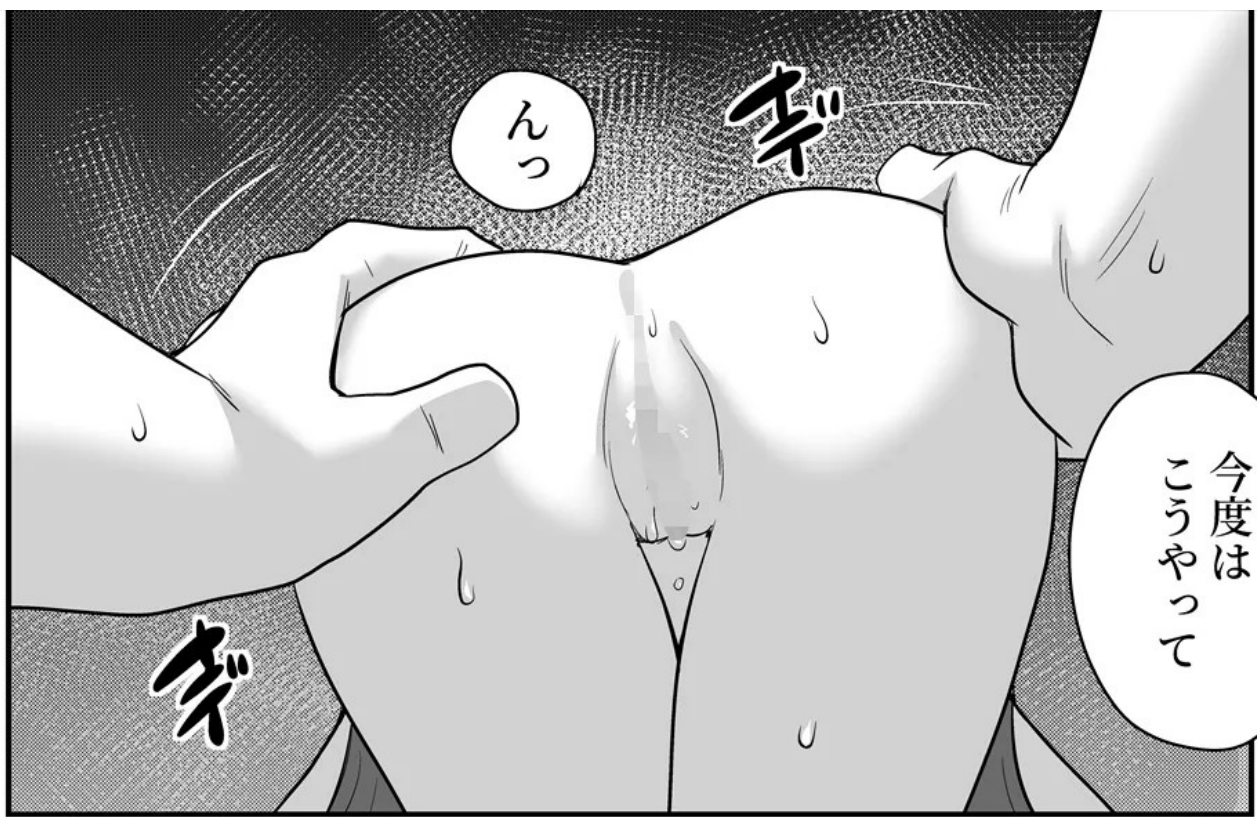








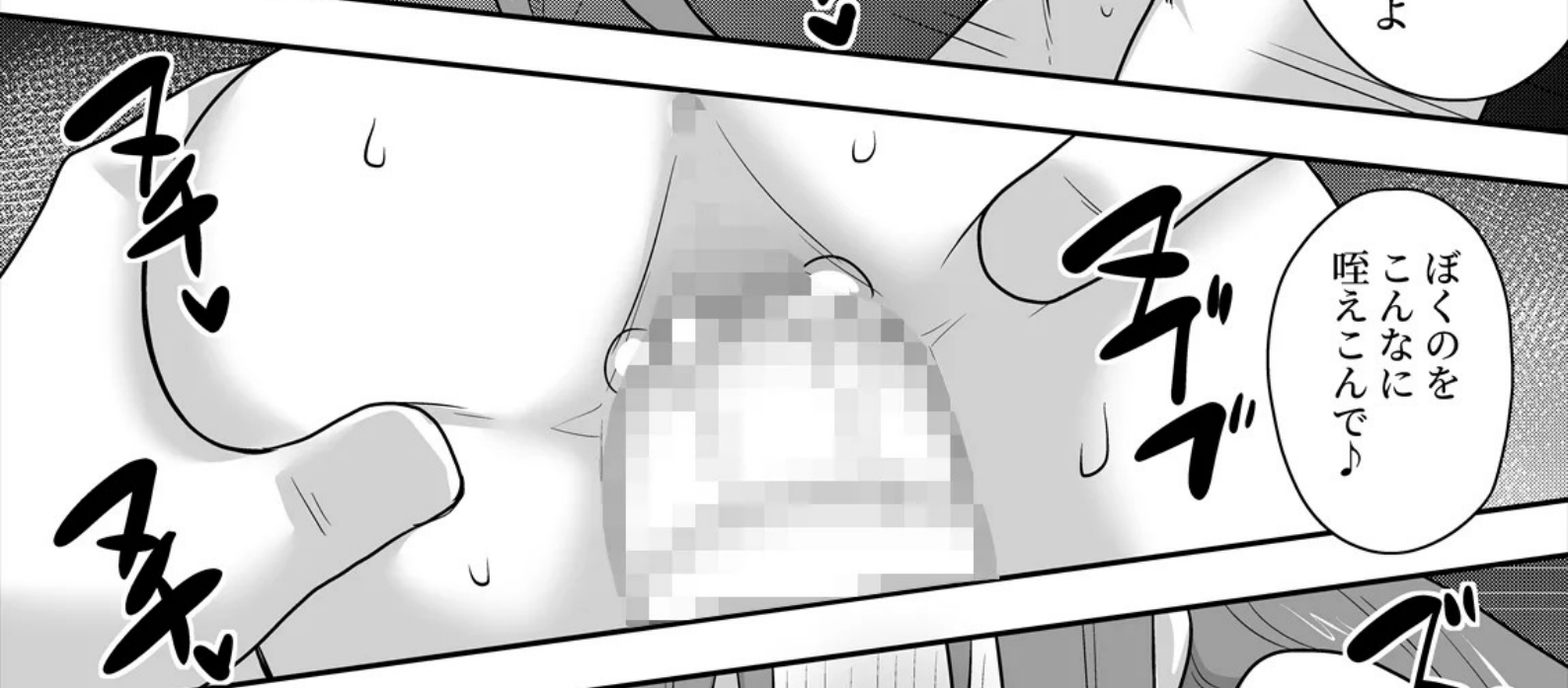






はあはあ
キツキツしまるゝ
ルナちゃん最高だよ

あっああ
ふうふう



ぼくのを
こんな
に
啜えこんで♪



うっあつ

んう



気持ち良い
ルナちゃんのおま●こ



僕たち深く
繋がってるね♪

もみ

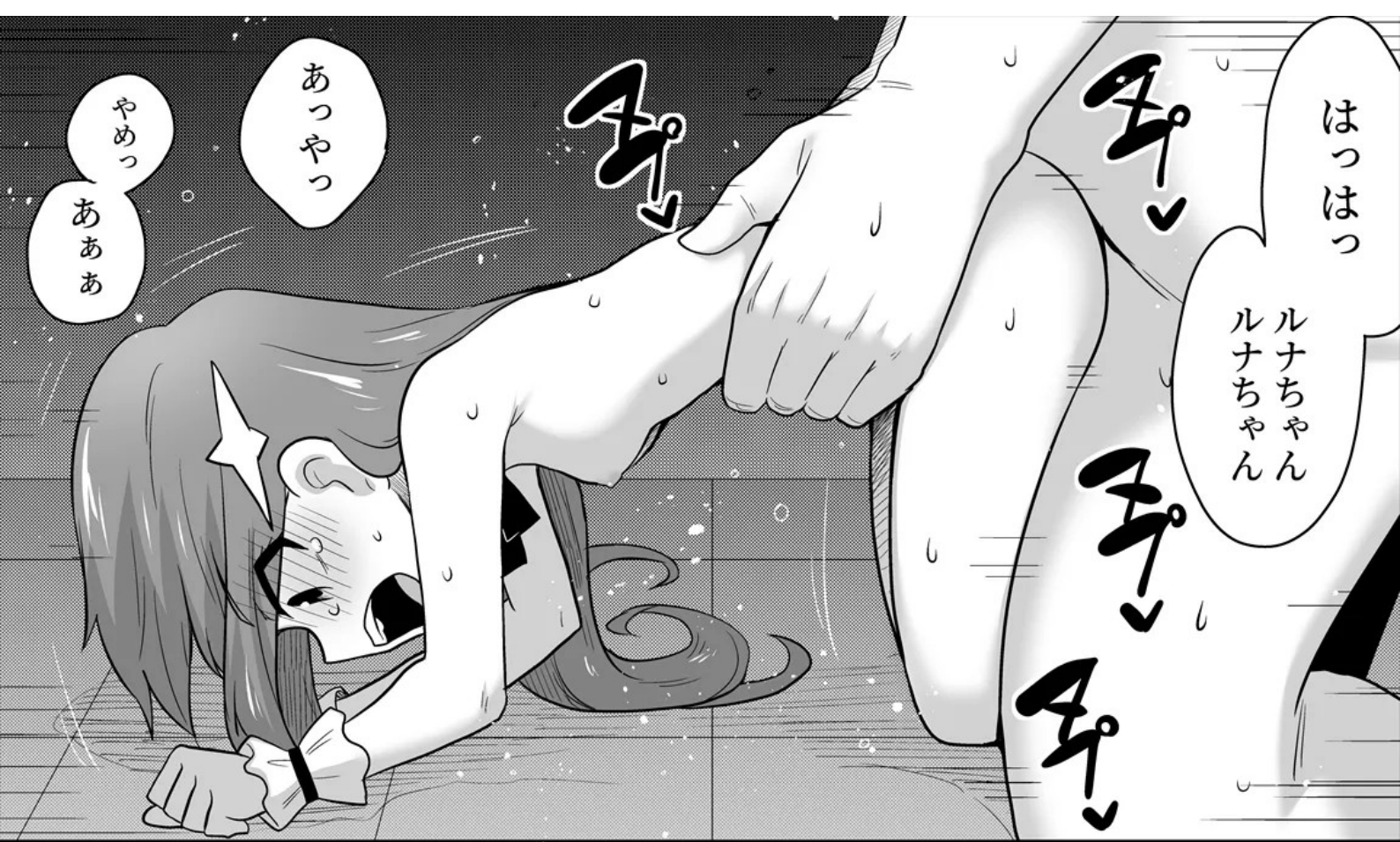


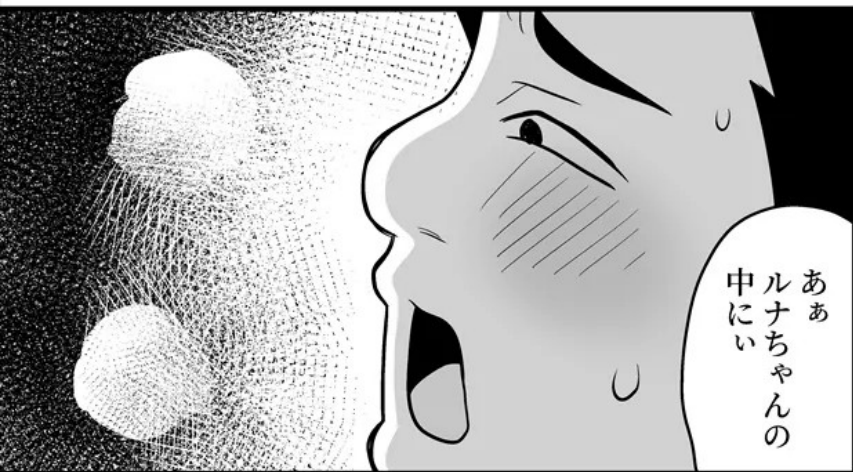
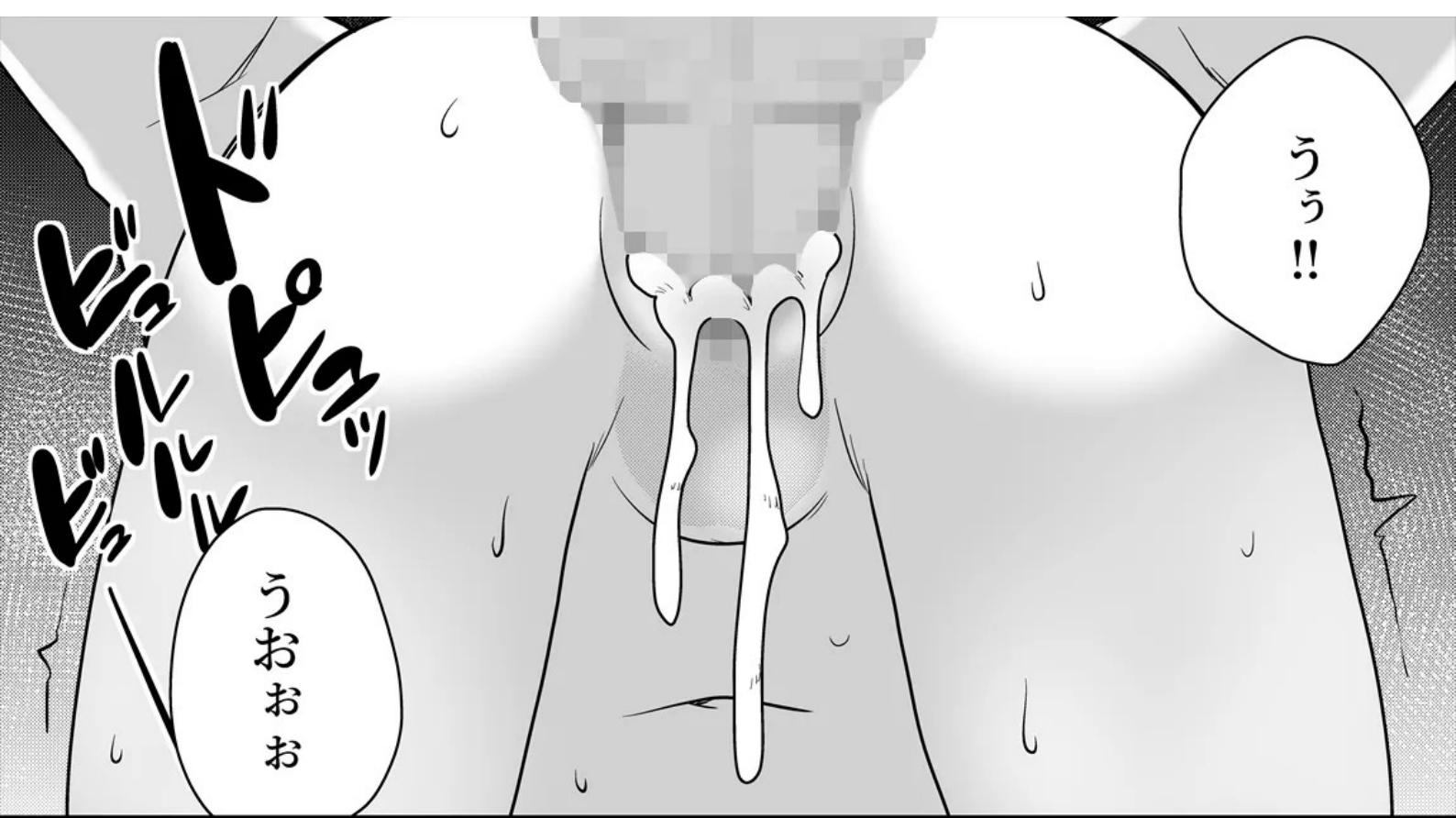
あぁ

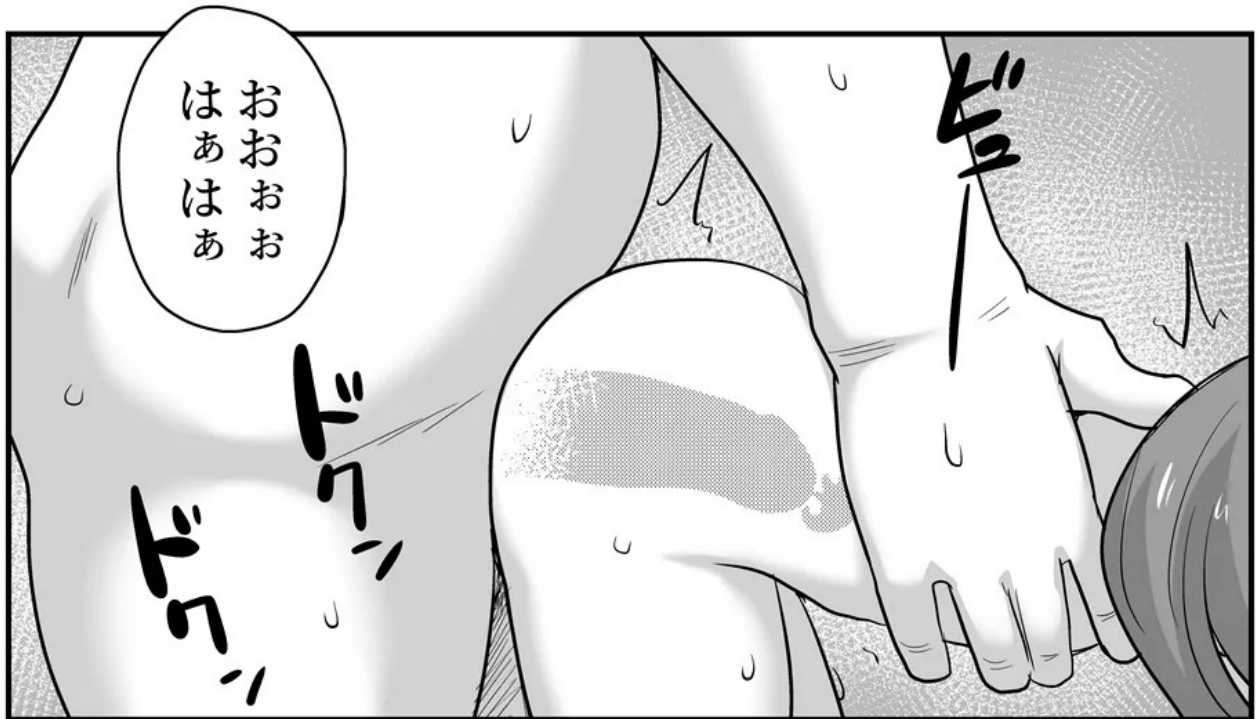
んあ

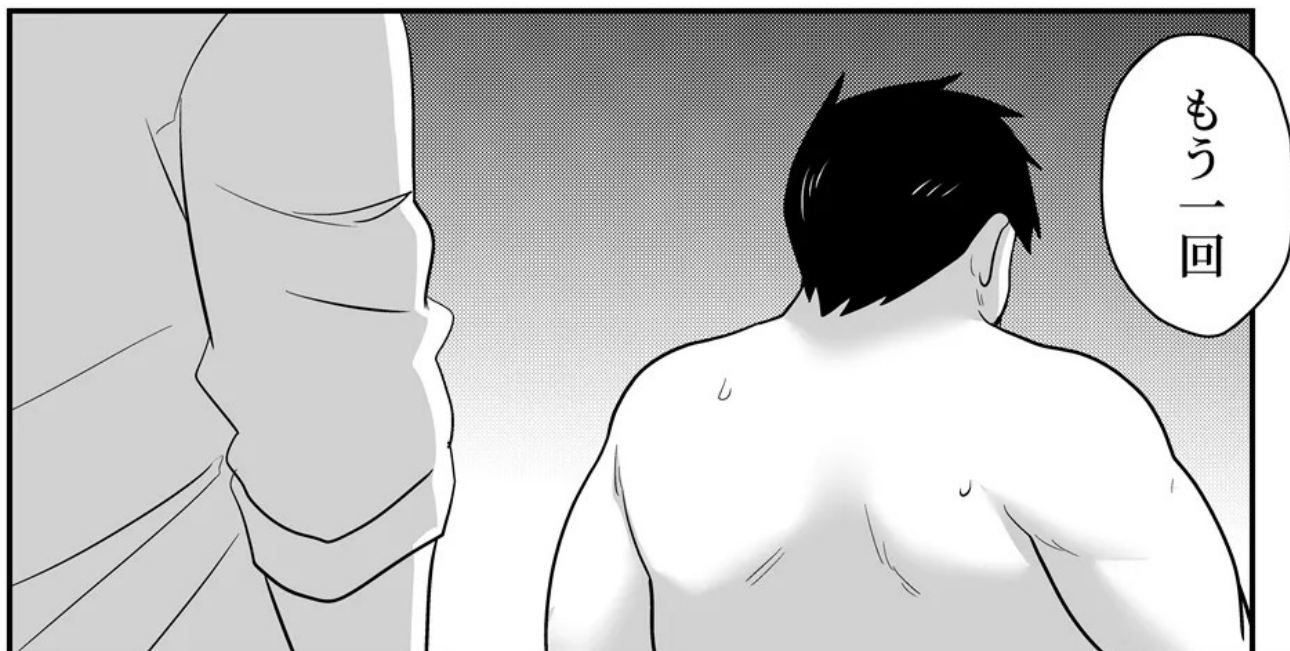
あっ

やっ











すまなかったな
警備の甘さのせいで

.....

あいつはこっちで
片付けといたから
安心しろ

まっ犬にでも
噛まれたと思って
忘れるこった

まあこうなったら
こうなったで
使えるか.....

まったく
余計な事を

フブク